令和２年５月臨時

伊達市教育委員会　会議録

令和２年５月８日開催

 令和２年５月臨時伊達市教育委員会会議録

1. 開催日時　　令和２年５月８日（金）13時30分～

２．開催場所　　伊達市役所東棟３階　庁議室

３．出席者　　　教育長　菅野　善昌

１番　髙野　保夫　　委員（教育長職務代理者）

　２番　菅野　千惠子　委員

　　　　　　　　３番　三品　清重郎　委員

４番　関根　勝富　　委員

1. 欠席委員　　なし

５．説明のため出席した者

　　　　　　　　教育部長　　　　　　　　　　　　田中　清美

　　　　　　　　教育総務課長

　　　　　　　　（兼学校給食センター所長）　　　土田　一紀

　　　　　　　　生涯学習課長　　　　　　　　　　森林　敏昭

　　　　　　　　学校教育課長　　　　　　　　　　熊澤　正人

　　　　　　　　こども部長　　　　　　　　　　　橘内　重康

　　　　　　　　こども支援課長　　　　　　　　　寺田　和也

　　　　　　　　こども育成課長　　　　　　　　　桃井　秀孝

６．本委員会書記

　　　　　　　　教育総務課総務企画係長　　　　　冨田　昭子

　　　　　　　　教育総務課総務企画係主事　　　　大橋　勝

1. 日程１

**○菅野教育長**令和２年５月臨時伊達市教育委員会会議を開会します。本日は全員出席しているため、会議が成立しました。また、開会時刻は、13時32分です。

８．日程２

**○菅野教育長**　会期決定についてお諮りします。本日８日にしたいと思いますが異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

**○菅野教育長**　異議なしと認め、会期は本日８日と決定します

９.日程３

**○菅野教育長**　本日の議事録署名は、１番髙野委員と２番菅野委員にお願いします。

10.日程４

**○菅野教育長**　新型コロナウイルス感染症に伴う対応について説明願います。

**○田中教育部長**国、県の要請を受け、市では３月４日～春休み終了まで、また４月20日～５月６日まで学校保健安全法第20条に基づき臨時休業とした。県から５月６日以降も臨時休業継続の要請があり、本市は当面休業とした。

**○髙野委員**２月に全国一斉休校が発表され、国は５月４日～５月31日までの休業延長が決定した。教育委員会として意見交換のため、臨時教育委員会を要請した。

**○菅野教育長**　学校が臨時休業する状況は、感染症予防の必要性がある場合と非常災害時の場合である。臨時休業についての対応を意見交換しながら、方針を決定したい。

　経過と今後について小中学校関係から説明します。

**○熊澤学校教育課長**国は本県を含む34県について、特定警戒解除の見通しであり、本市では段階的に登校日を設け、学校再開に向けた準備を行う。

**○菅野教育長**　経過と状況、今後の方向性、課題について説明があった。国から示されている基本的な感染症対策を具現化する工夫点も説明された。委員の皆様から意見はありますか。

**○三品委員**県内自治体へ５月末まで休業要請があった。全ての自治体で休校になっているのか、学校再開している自治体はあるのか。

**○熊澤学校教育課長**新聞報道では全自治体が休業と把握しているが、いわき市は21日から部分的に登校日を設けるとしている。

**○髙野委員**各自治体学校再開時期は様々。本市は当面の間休業延長し、再開日時は未定。県の方針が曖昧で困惑している模様。

**○菅野教育長**　現在学校再開は６月１日。登校日を設け子ども達を慣れさせ、学校再開という流れで進める。本日、各新聞に掲載されたが、臨時休業、登校日、学校再開が意味する部分が整理できていないと、受け止め方が変わってくる。本市の現状を踏まえた対応が必要である。

**○菅野委員**全国一斉の学校休業や緊急事態宣言が発令され、教育委員会を開催する時間もなく休業となった。同じ結論に達したとしても、教育委員会を開催した場合、教育委員として参画しているという気持ちは強くなったと思う。

　先日行われた校長会資料に特別支援介助員、給食配膳員等は通常勤務と記載されている。児童、生徒がいなく給食もない中、通常勤務である事と学校規模によって放課後児童クラブに特別支援介助員を配置する事に疑問が生まれた。２点目は校庭開放について。学童クラブは校庭を使用しており、学年、地域別により校庭開放はできたのでは。

**○菅野教育長**　職員の勤務、校庭開放について説明お願いします。

**○熊澤学校教育課長**休業補償も考慮し、特別支援介助員には記録の整理や今後の教材作成、給食配膳員には給食室の消毒などを依頼している。

　学童クラブの校庭使用は、屋内での３つの密になる状況を回避するため開放したが、学年、地域ごとの使用時は児童の安全確認の負担が大きくなるため、校庭開放は実施しない事とした。しかし保護者が付き添いの上、校庭使用の場合は、校長に判断を委ねた。

**○菅野教育長**　他に意見のある方いますか。

**○関根委員**　今年度学校で授業をした期間が約２週間。授業の振返りと課題を繰り返し行っている状況である。小学生は予習することも困難であり、今後登校日には新しい学び、課題があれば家庭学習は充実する。

**○菅野教育長**　登校日のあり方、学習状況等の説明をお願いします。

**○熊澤学校教育課長**これまで登校日の対応は、感染予防のため短時間で行い、速やかに下校させていた。今後学校再開に向け、３時間程の授業を行うとともに、帰宅後の授業復習のため、課題を出し学習のリズムを作っていく。

**○三品委員**今後タブレット端末を使用した学習を考える必要がある。第２波、第３波や新たな感染症蔓延の際に対応できると思う。月舘学園ではタブレット端末も揃っており、通信学習を始める準備はできている。首都圏では通信学習が進んでおり、学力差が出てくる懸念がある。

**○田中教育部長**　国の方針は今年度中、小学１年生から中学３年生までタブレット端末を整備する予定。月舘学園では１人１台のタブレット端末があるが、セキュリティ対策の課題があり、家庭ではインターネット接続不可に設定している。学校でダウンロード済アプリは、インターネット環境無しで使用可能。市は６月補正予算で校内高速通信環境整備と１人１台の端末を今年度中に整備予定。今後、各家庭のインターネット環境整備状況を教育委員会で調査する。

**○三品委員**伊達地区には有線があり、通信学習を始められると思う。地区により違いは出てくるが、進められる地区から行うべき。

**○田中教育部長**伊達地区のケーブルテレビの幹線は光ケーブルで整備したが、家庭への引き込みは光ケーブルではない。高速通信利用には、新たに設備投資をする必要があり困難。

**○髙野委員**感染症対策として市内小中学生へマスクの配布、学校再開に向け消毒液の準備、また体温計の準備はできているか。

**○熊澤学校教育課長**児童生徒１人ずつ布マスク２枚を配布済み。また文部科学省から布マスク２枚が届く予定。３月に消毒液が不足している学校へ配布を行ったが、学校で必要なものを購入するよう伝えている。現在、品物、予算が不足の報告はない。

　非接触型体温計は発注済。しかし品薄状態であり、納品まで２か月程かかる。現在既存の体温計で支障なく検温が出来ている。

**○髙野委員**登校日に体温記入シートが配られた。子ども達は記入を守っているか。

**○熊澤学校教育課長**記入忘れは学校の体温計で検温し記入を行っている。体温計が不足しているという声はない。

**○菅野委員**学童クラブは開放しており、通知には原則小学３年生まで対象と記載されている。利用する子ども達は通常の半数になっているが、子ども達の多くはマスクをしていない。また消毒、検温は頻繁に行うため、指導員へ負担が大きく、学校が再開すると今以上に教員の負担増加が予想される。

**○橘内こども部長**約120名が学童クラブに通っており、密の状況、指導員へ負担が増加していることは把握している。指導員用にマスク配布を行った。子ども用マスクの配布準備を現在進めている。更に密になる状況であれば、分散を検討中。

**○菅野教育長**子ども達の中にマスクを付けない姿が見られる。マスクを外す子どもに注意し、マスクをしていない子どもへ学校備蓄用を配る対応をしている。危機意識の徹底をお願いしている。子ども達へ更なる指導をするべき。

**○三品委員**本市において感染者が出た場合、休業延長するのか、県の要請に従うのか。

**○熊澤学校教育課長**児童生徒の感染者が出た場合、市内全学校が２週間休業となる。６月以降に感染者が出た場合、当該学校のみ休業予定。

**○田中教育部長**保護者の職場で感染者が出た場合、濃厚接触者ではないが当該事業所において当面、休ませると話があった。感染経路が確認された場合、休校にしない対応等を検討中。

**○菅野教育長**資料について質問がある方はお願いします。

**○髙野委員**３月当初から臨時休業となり、１年間の教育課程を補う事が困難。更に意欲減退が見られ、通信学習の環境も様々である。また家庭学習の進み具合で教育格差が生まれ、格差を埋める事は難しい問題である。

小学校１年生の重要な時期に学習をおろそかにすると、基礎が定着せず授業理解が難しい。教育委員会として方針を地域住民、保護者に示す必要がある。教育格差が今以上大きくなる前に、早急に学校再開を願う。

**○菅野教育長**新年度になり授業、生活指導をしたのが２週間。学校再開後も子ども達は学習遅れのハンデを持つことになる。教育時間を確保するため早急に指導した場合、子ども達が離れてしまう事が考えられる。そのため課題の出し方、家庭の過ごし方等を漫然と指導するのではなく、意図的に行ってほしいと５月の校長会で伝えた。子ども達のハンデを補うため、対策を考える必要がある。

**○髙野委員**５月末まで登校日を週１日とするか、変更をするか。

**○熊澤学校教育課長**今後速やかに週２～３回の登校日を設け、学習機会を確保するよう通知する。

**○髙野委員**小学１、６年生、中学３年生へ特別な指導をする予定か。

**○熊澤学校教育課長**学校の実情に合わせ、学年ごとに登校日を増やすことが可能。現状を把握し各学校の判断で登校日を増やすなどの対応を伝えた。

**○菅野教育長**次に就学前の子ども達、保育園、幼稚園、認定こども園の現状と今後の取り組みの方向性について説明お願いします。

**○橘内こども部長**保育園、認定こども園は通常通り保育しており、幼稚園は休業としている。

**○菅野教育長**意見や質問のある委員の方はいますか。

**○髙野委員**保護者から要望等は出ているか。

**○橘内こども部長**現在要望は出ていない。連休中の５月４～６日、保原保育園を開放予定としたが、３世帯、４名の登園希望であった。開放は５人以上を予定していたため、お断りし家庭保育をお願いした。

**○菅野教育長**幼稚園も休業要請が出ている。小中学校は登校日を設け段階的に子ども達を慣れさせるが、幼稚園は再開に向けどの様になるのか。

**○桃井こども育成課長**幼稚園も段階的に登園させる予定。

**○菅野教育長**その他に委員からありますか。

**○髙野委員**　市立図書館はいつ再開予定か。本を借りたいが閉館しているため、借りることができないという声が上がっている

**○田中教育部長**　５月12日からインターネット予約で時間を指定し、貸し出しを行う。全面再開は休業要請解除を受け検討する。

**○菅野委員**各中央交流館にも図書室があるが、市立図書館と同様の方法で貸し出す予定か。

**○田中教育部長**各中央交流館は集会施設のため閉館している。本貸し出しは市立図書館のみの対応。

11.日程５　その他

**○菅野教育長**その他に移ります。

**○土田教育総務課長**福島県市町村教育委員会連絡協議会伊達支会総会は規約に基づき、例年５月に開催しているが、先日役員会で、全会一致により書面開催と決定した。

**○田中教育部長**伊達市内の児童生徒へ１人２枚の布マスクを配布済。また本市から福島市の学校に通学している児童生徒には、５月１日郵送で対応した。

　学校再開に向け、消毒液不足の場合は、品薄状態が考えられるため、市で一括注文予定。

　現在本市役所では分散業務を行っている。市内４か所に職員を分散させ、感染者が出た場合、全員が濃厚接触者にならないよう対策している。５月末まで分散業務を行う予定。

**○菅野教育長**５月定例会日程について事務局よりお願いします。

**○土田教育総務課長**５月定例伊達市教育委員会会議

日時　令和２年５月13日（水）13時30分～

会場　庁議室

**○菅野教育長**本日の５月臨時教育委員会は15時13分で終了します。

12．日程６　閉　　会　15時13分

上記記録の正確なことを認め、ここに署名する。

　　　　令和２年５月８日

　　　　　　　　　　　　議事録署名人

　１番委員

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２番委員

　　　　　　　　　　　議事録調製者　教育総務課総務企画係主事　大橋 勝